

学校法人 専修大学附属高等学校

生徒一人ひとりの個性を尊重し伸ばすため、
ICTを活用し、多様な学習環境・授業展開を確保する

導入サービス：LTE iPad



お客さま情報

学校法人 専修大学附属高等学校

卒業生の大半が専修大学へ進学するため、受験勉強に偏らずそれぞれの興味に応じて学習や部活動、留学プログラムなどに打ち込めます。一方、他大学志望の生徒には他大学受験進学コースの選択や受験対策の選択講座などで、進路の実現をサポートします。

また、専修大学との高大連携システムも充実しています。

〒168-0063 東京都杉並区和泉4-4-1

<https://senshu-u-h.ed.jp/>



目的

- ・場所に依存しない学びの環境を提供したい
- ・主体的な探究活動、個別最適化を推進したい
- ・教員間や学校と保護者間の連携を円滑にしたい

概要

専修大学附属高等学校は大学の付属高校であるため、以前からグループワークやポスター発表などを積極的に取り入れ、受験勉強にとらわれない探究的な授業が展開されていました。さらに、2020年度より全教員を対象に、2021年度より全校生徒を対象に、一人一台LTEモデルのiPadの整備を実現したことにより、教員が持っていた多彩な授業のアイデアを形にすることができるようになりました。また、学習支援アプリを使用することで、習熟度ごとに多様な学び方ができるようになりました。

対策

iPadの活用によって、シンキングツール利用による思考整理や調べ学習、発表に向けたスライド作りなど、主体的な探究活動を展開する授業が大幅に増えました。

「総合的な探究の時間」の総まとめとして3月に実施された「ホームルーム合宿」では、校外の施設を訪れて現地の魅力を発信する企画をグループで検討し、学年全体でのプレゼン大会を行いました。また、学習支援ツールを活用してポートフォリオを作成することで、プリントとファイルで作成していたころと比べて生徒の自由なタイミングで活動内容のまとめやメモの作成を行えるようになりました。

効果

MDMによる端末管理や故障時の補償サービス、フィルタリングなどによって、生徒も教員も安心してICT機器を使用できる環境が構築できたことはもちろん、校内Wi-Fiのトラブル時にも学習が止まらない環境を整備できました。

さらに、電話による欠席連絡からウェブ上での欠席連絡に移行し、生徒を通じて配布していたプリントをデータで配信することで、教員・保護者の負担を軽減できました。これにより、教員が生徒と向き合う時間も増え、個別の質問や補習に対応しやすくなり、「個別最適化された学び」へのサポート体制が充実しました。

今後の展望

私たち大人が学生だった頃とは比べ物にならない速さで社会は変化していきます。iPadを活用し様々な取り組みを実施していますが、iPadはあくまでも「ツールの一つ」に過ぎません。ツールに振り回されることがなく、学力の三要素を伸ばすために必要な取り組みを検討する中で、iPadをさらに効果的に活用していきます。

今後は、ドコモビジネスのVR体験や最新機器の展示会などに積極的に参加し、社会の変化に応じた新しい学習環境／授業展開を実現したいと思っています。

お問い合わせ

NTTコミュニケーションズ株式会社

法人のお客さま ドコモビジネス Smart World for Education

サイト <https://www.ntt.com/business/lp/education-ict.html>

●記載内容は2023年6月現在のものです。

●記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。